別紙1

【薬用作物産地支援　栽培技術研修】

研修会	開催日	集合場所	研修会場	現地研修場所
北海道	8月21日(火)～ 22日(水)	名寄駅前 （JR北海道宗谷本線）	名寄市民文化センター （北海道名寄市）	名寄市薬用作物研究会
東 北	10月4日(木)～ 5日(金)	いわて沼宮内駅前 （JR東日本東北新幹線）	盛岡地域交流センター　マリオス （岩手県盛岡市）	岩手薬草生産組合
関 東	9月13日(木)～14日(金)	長野駅前 （JR東日本）	NOSAI長野会館 (長野県長野市)	長野県生薬株式会社 管理圃場
北 陸	9月20日(木)～ 21日(金)	富山駅前 （JR西日本）	富山県民会館 （富山県富山市）	富山薬草生産組合
東海・近畿	9月4日(火)～5日(水)	榛原駅前 （近鉄大阪線）	奈良県橿原文化会館 （奈良県橿原市）	奈良県農業研究開発センター大和野菜研究センター
中四国	12月5日(水)～6日(木)	佐川駅前 （JR四国土讃線）	高知県立県民文化ホール （高知県高知市）	ヒューマンライフ土佐
九 州	12月11日(火)～ 12日(水)	人吉駅前 （JR九州肥薩線）	ホテル　サン人吉 （熊本県人吉市）	あさぎり薬草合同会社

※　集合場所～現地研修～研修会場はバスで移動します

薬用作物産地支援　栽培技術研修　北海道会場

研究実施主体:　　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　　20名

研修実施場所:　　名寄市民文化センター（北海道名寄市）

実施時期:　　8月21日(火)～22日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
8月21日（火）	13:20−13:50（30分）	13:20現地集合 場所:名寄駅(JR北海道宗谷本線) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:50−15:40（110分）	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「名寄市薬用作物研究会」のカノコソウ圃場の現地研修を通じて、薬用作物の特徴、栽培上の注意点、種子・種苗の供給、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。	六郎田　直人	名寄市薬用作物研究会事務局
	15:40−16:10（30分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:30−17:30（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期 待する内容について理解する。	髙林　耕平	日本漢方生薬製剤協会生薬国内生産検討班
8月22日（水）	9:00−10:30（90分）	[講義] 薬用作物の栽培技術について(仮題)	地域の生産者からの要望の高い栽培技術について解説する(カンゾウ、シャクヤク、ハトムギ等)	菱田 敦之	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター北海道研究リーダー
	10:40−12:10（90分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	大潟　直樹	農研機構次世代作物開発研究センター畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット長
	12:10−13:10	昼　食			
	13:10−14:40（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40−15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

薬用作物産地支援　栽培技術研修　東北会場

研究実施主体:　　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　　20名

研修実施場所:　　盛岡地域交流センター マリオス（岩手県盛岡市）

実施時期:　　10月4日(木)～5日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
10月4日（木）	12:40−13:00（20分）	12:40現地集合 場所:いわて沼宮内駅(JR東日本) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:00−15:00（120分）	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「岩手薬草生産組合」における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:00−16:10（70分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:30−17:30（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	段上　勝仁	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
10月5日（金）	9:00−10:30（90分）	[講義] 薬用作物の栽培技術について(仮題)	地域の生産者からの要望の高い栽培技術について解説する。(オタネニンジン、シャクヤク、トウキ等)	柴田　敏郎	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター筑波研究部客員研究員
	10:40−12:10（90分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	久保堅司 小野 直毅	農研機構東北農業研究センター　農業放射線研究センター 畑作移行低減グループ 主任研究員 岩手県農業研究センター　県北農業研究所 作物研究室　技師
	12:10−13:10	昼　食			
	13:10−14:40（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40−15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

薬用作物産地支援　栽培技術研修　関東会場

研究実施主体:　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　15名

研修実施場所:　NOSAI長野会館（長野県長野市）

実施時期:　9月13日(木)～14日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
9月13日（木）	12:50–13:30（40分）	12:50現地集合 場所:長野駅(JR東日本) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30–15:00（90分）	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	長野県生薬株式会社管理圃場(オトギリソウ、エンメイソウ、キクイモ等)における現地研修を通じて、薬用作物の特徴、栽培上の注意点、種子・種苗の供給、品質評価等について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:00–15:40（40分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:00–17:00（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	小柳　裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
9月14日（金）	9:00–10:00（60分）	[講義] 薬用作物の国内栽培にあたって(仮題)	薬用作物は薬の原料であり一般作物とは取り扱いが異なる。薬用作物の国内栽培における要点のひとつとして、生薬企業の求める法体系等を解説する。	小谷 宗司	信州大学特任教授、公益社団法人東京生薬協会 理事
	10:10–11:10（60分）	[講義] 薬用作物の国内栽培技術について(仮題)	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する(オオバナオケラ、サジオモダカ等)。	福田　達男	前・北里大学薬学部附属薬用植物園
	11:20–12:20（60分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	大潟　直樹	農研機構次世代作物開発研究センター畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット長
	12:20–13:20	昼　食			
	13:20–14:50（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:50–15:10	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

薬用作物産地支援　栽培技術研修　北陸会場

研究実施主体:　　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　　20名

研修実施場所:　　富山県民会館（富山県富山市）

実施時期:　　9月20日(木)～21日(金)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
9月20日（木）	12:50–13:30（40分）	12:50現地集合 場所：富山駅前（JR西日本） 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:30–15:00（90分）	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「富山薬草生産組合」における現地研修でシャクヤク収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:00–15:40（40分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:00–17:00（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	小柳　裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
9月21日（金）	9:00–10:30（90分）	[講義] 薬用作物の栽培技術について（仮題）	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する。（シャクヤク、ジュウヤク、トウキ等）	酒井　英二	岐阜薬科大学 薬草園研究室　教授
	10:40–12:10（90分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	大潟　直樹 加藤　晶子	農研機構次世代作物開発研究センター畑作物研究領域 カンショ・資源作物育種ユニット長 同　上席研究員
	12:10–13:10	昼　食			
	13:10–14:40（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40–15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

薬用作物産地支援　栽培技術研修　東海・近畿会場

研究実施主体:　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　20名

研修実施場所:　奈良県橿原文化会館（奈良県橿原市）

実施時期:　9月4日(火)～5日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
9月4日（火）	13:00–13:20（20分）	13 :00現地集合 場所:榛原駅前(近鉄大阪線) 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:20–15:00（100分）	[講義・現地研修] 農水省委託プロジェクト「収益力向上のための研究開発」の薬用作物関連の現地見学	標記プロジェクトのうち、「薬用作物の雑草管理の安定化と軽労化技術の開発」に関する実証圃場の見学とこれまでの取り組み成果を紹介する。	大谷 正孝	奈良県農業研究開発センター大和野菜研究センター 総括研究員
	15:00–15:40（40分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:00–17:00（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	白鳥　誠	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
9月5日（水）	9:00–10:30（90分）	[講義] 薬用作物の栽培にあたって（仮題）	地域で有望なミシマサイコ、カノコソウ、キキョウ等の栽培技術について解説する。	飯田　修	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター　客員研究員
	10:40–12:10（90分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	川嶋　浩樹 米田　健一	農研機構西日本農業研究センター　傾斜地園芸研究領域 傾斜地野菜生産グループ長 奈良県農業研究開発センター果樹・薬草研究センター 指導研究員
	12:10–13:10	昼　食			
	13:10–14:40（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40–15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

薬用作物産地支援　栽培技術研修　中四国会場

研究実施主体:　　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　　20名

研修実施場所:　　高知県立県民文化ホール（高知県高知市）

実施時期:　　12月5日(水)～6日(木)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
12月5日（水）	12:35–13:00（25分）	12:35現地集合 場所:佐川駅前（土讃線） 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:00–15:00（120分）	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「ヒューマンライフ土佐」における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:00–16:15（75分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	16:30–17:30（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	髙林　耕平	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
12月6日（木）	9:00–10:30（90分）	[講義] 薬用作物の栽培技術について（仮題）	国内栽培の期待が高い薬用作物の栽培技術について解説する（ジャノヒゲ、カンゾウ、ミシマサイコ等）。	尾崎　和男	大阪薬科大学 薬学部 生薬科学研究室
	10:40–12:10（90分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	川嶋　浩樹 白石　豊 高木　和彦	農研機構西日本農業研究センター　傾斜地園芸研究領域 傾斜地野菜生産グループ長 愛媛県農林水産研究所 企画環境部　環境安全室 主任研究員 徳島県立農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課　上席研究員
	12:10–13:10	昼　食			
	13:10–14:40（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40–15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	

薬用作物産地支援　栽培技術研修　九州会場

研究実施主体:　　薬用作物産地支援協議会

受講対象者:　　普及指導員、営農指導員、市町村職員等

研修目的:　　薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上

受講定員:　　20名

研修実施場所:　　ホテル　サン人吉（熊本県人吉市）

実施時期:　　12月11日(火)～12日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
12月11日（火）	12:30–13:00（30分）	12:30現地集合 場所:人吉駅前 移動(バス利用)	研修の概要説明	事務局	
	13:00–15:00（120分）	[講義・現地研修] 薬用作物の栽培技術等について	「あさぎり薬草合同会社」における現地研修で、収穫時期の状況を見学し、薬用作物の特徴、品質評価について、今後の支援に必要な知識・技術の理解を深める。		
	15:00–15:30（30分）	移動(バス利用) →研修会場		事務局	
	15:50–16:50（60分）	[講義] 薬用作物の実需者ニーズと今後の国内栽培について	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に期待する内容について理解する。	髙林　耕平	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班
12月12日（水）	9:00–10:30（90分）	[講義] 薬用作物の栽培技術について（仮題）	延岡市と連携して取り組んでいるサフラン・ミシマサイコ・ヤマトトウキ・ムラサキ等の薬用作物の栽培技術について解説する。	渥美　聡孝	九州保健福祉大学 薬学部 薬学科　講師
	10:40–12:10（90分）	[講義] 農水省委託プロジェクト研究「薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発」の取り組み	トウキ、ミシマサイコ等の主要5品目について高品質な産品を低コストで安定的に栽培・収穫し、複合経営モデルを実証することを目的としたプロジェクト研究の目標やこれまでの成果について解説する。	川嶋　浩樹 陣内宏亮 吉田勝一郎	農研機構西日本農業研究センター　傾斜地園芸研究領域 傾斜地野菜生産グループ長 佐賀県農業試験研究センター　三瀬分場 宮崎県総合農業試験場 薬草・地域作物センター
	12:10–13:10	昼　食			
	13:10–14:40（90分）	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地形成における課題と対応	各地域の薬用作物産地形成に向けた課題について情報交換を行うとともに、今後の産地育成支援の進め方を討議する。	講師同席	
	14:40–15:00	閉会	研修に対する評価等についてアンケート調査を実施	事務局	